

事業所名 放課後等ディサービス おひさま八幡事業所

支援プログラム

作成日 令和6年 11月 13日

法人（事業所）理念	放課後等ディサービスおひさまは、制度開始の2012年から運営しております。「良質な療育」を提供する為に努力を積み重ねてきました。県内外の同法人施設間の情報共有、言語聴覚士に委託している研修や訪問等により質の高い療育を提供出来る環境づくりに努めております。また、児童発達支援も運営しており、「おひさま」内での引継ぎが可能な為、放課後等ディサービスへのスムーズな移行が可能です。子ども達の自立を促進するとともに、楽しめる事業所を目指しています。				
支援方針	事業所が、大切にしている事は、「余暇支援」です。自分で好きな事ややりたい事を見つけ、発信し、持てる力を存分に発揮出来る環境作りを行っております。楽しめる環境の中、子ども達が安心して過ごせる居場所となるように 支援者間の良好なコミュニケーションにも、取り組んでいます。「子どもの最善の利益」を、常に考えながら、否定的な声掛けをせず、具体的な行動を示す声掛けを行っております。子ども達が、利用を待ち望み楽しく通って頂ける事業所を目指しています。				
営業時間	平日 学休日	15 16 10 時	20 00 00 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	生活習慣や、生活リズムの形成。（手洗い・挨拶・食事の際のマナーなど） 健康状態の把握と対応・・・平常とは異なった状態を速やかに気付き必要な対応を実践する。（検温の徹底など） 日常生活・社会生活を営めるよう、子どもが持つ機能を発達させながら一人一人に適切な身体的・精神的な支援を行う。（楽しく食事が出来る環境設定など）			
	運動・感覚	運動・・・定期的なラジオ体操・サーキット運動活動・指示運動・ボール遊びなど視覚や聴覚に刺激を与えながら楽しんで全身を使う運動療育 工作や制作活動・・・はさみ、のり、折り紙など様々な道具の正しい使い方を知り手先の巧緻性を高めながら完成を目指し達成感を味わう。 また、パーテーションやイヤーマフを活用し視覚・聴覚への刺激を減少させ落ち着いて安心できる環境作りを行う。			
	認知・行動	個々の子どもの特性に応じ認知機能や行動に対する適切なサポートを通じて日常生活や学習での成功体験を積むことを目的とする。 スケジュール・タイマー・タイムタイマー・絵カード等を一人一人に応じた形で利用する事で、課題への集中・行動、感情の管理・ルールの自己理解・などの向上を目指す。 社会的トレーニング・SSTで「考える」「どうしたら良かったのか調べる」「試してみる」などのステップを教え解決方法の手立てを提示する。			
	言語 コミュニケーション	子どもが効果的に適切な言葉を使い、自分の気持ちや考えを表現出来るように支援する事を目標とする。言葉での表現力→絵カードを使った言葉遊び。意思表示と自己表現→様々な感情（嬉しい・悲しい・怒るなど）を表す絵カードから今の気持ちを伝える。相手の話を聞く→SSTなどの要素を取り入れ相手の話を最後まで聞き自分の順番に話すルールを守る。社会的なスキルの向上→特定の場面を再現し（ロールプレイング）状況に応じた会話等の練習（お話作りカード・お話すごろくなど）			
	人間関係 社会性	子どもが他者と円滑なコミュニケーションを図り、社会的なスキルを身につけることを目標とする。感情理解→絵カード等を使い様々な表情や感情の理解を深める。グループ活動やボードゲームでルールを守る、負けを受け入れるなどの体験を積む。成功体験の積み重ねから自己肯定感を高める。制作活動などを通して役割分担を取り入れ責任を持つことの大切さを実感する。集団や社会的なルールを理解・習得し他者との協力や他者を尊重する力を育む。			
家族支援	保護者面談（最低でも半年に一度） 各関係機関との連携調整 困りごとがあれば、管理者や児童発達支援管理責任者に相談できる環境調整	移行支援	各関係機関との連携を図り、環境変化等への課題提示、情報共有		
地域支援・地域連携	・自立支援協議会への定期的な参加 ・学校や他の放課後等ディサービス、相談支援事業所・児童クラブ等との情報共有 ・子ども支援部会への参加	職員の質の向上	・日々の支援についての振り返り（毎日）（その後の支援に生かすため） ・定期的な研修（zoom等を活用） ※法定研修・外部研修・防災研修等 ・同一法人内での移動勤務による研修 ・STの訪問指導		
主な行事等	・各季節に応じたイベント（お花見・夏祭り・七夕会・クリスマス会など） ・外出行事（お買い物学習を兼ねる） ・外部への依頼により 安全教室や食育、環境学習等） ・避難訓練（火災・地震・不審者対応）				